

平成22年度病虫害発生予察注意報（第3号）

和歌山県農作物病虫害防除所

1. 病虫害名：セジロウンカ

2. 対象作物：水稻

3. 対象地域：県内全域

4. 発生量：多

5. 注意報発令の根拠

(1) 4月1半旬～7月2半旬の期間の予察灯による誘殺数は、紀の川市593頭、上富田町627頭、那智勝浦町424頭で、いずれも平年と比べて多い（第1表）。

(2) 7月3半旬現在の発生ほ場率は100%であった。25株あたり平均生息虫数は紀北地域215.3頭、紀中地域108.7頭、紀南地域225.0頭で、紀北地域と紀南地域は平年より多かった（第2表）。

(3) 要防除水準（成幼虫が1株あたり10頭）を超える圃場は、紀北地域で12%、紀中地域で14%、紀南地域で50%であった（第2表）。

6. 防除上の注意事項

(1) 圃場を見回り、成幼虫が1株あたり平均10頭を超える場合は早急に薬剤防除を実施する。

(2) 農薬の使用基準を遵守し、危害防止に努めること。

(3) 本年はコブノメイガの発生もやや多い。セジロウンカの発生が少ない圃場（1株あたり平均10頭未満）では急いで防除せず、コブノメイガの防除適期に両種に登録がある薬剤で同時防除を図ると効率的である。なお、紀南地域の早期水稻ではコブノメイガの防除の必要性は低い（病虫害防除技術情報第1号参照）。

(4) 紀南地域の早期水稻ではカメムシ類にも登録がある薬剤を選択し、出穂後の斑点米カメムシ防除と兼ねると効率的である。

担当：農作物病虫害防除所

井口、山田

電話：0736-64-2300

第1表 予察灯によるセジロウンカ誘殺数（2010年）

（単位：頭）

	紀の川市		上富田町		那智勝浦町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月～5月	0	1.6	0	3.2	0	2.5
6月 1半旬	0	2.0	0	0.3	0	5.0
2半旬	0	3.6	0	46.9	0	11.7
3半旬	7	7.4	0	86.5	16	57.7
4半旬	238	4.1	211	41.4	68	23.2
5半旬	251	10.2	229	15.6	0	30.5
6半旬	26	51.5	27	47.1	9	51.5
7月 1半旬	67	86.7	151	57.0	148	37.6
2半旬	4	15.4	9 ^{a)}	45.9	183	51.3
合計	593	182.6	627	343.9	424	271.0

a) 上富田町の7月2半旬は、7月9日までの値。

第2表 圃場におけるセジロウンカの発生状況（2010年7月3半旬）

地域	調査圃場数	発生圃場率	25株あたり平均生息虫数(頭)		要防除 ^{a)} 圃場率
			本年	平年	
紀北	17	100%	215.3	89.5	12%
紀中	7	100%	108.7	117.7	14%
紀南	6	100%	225.0	52.0	50%

a) 要防除圃場率・・・1株あたり10頭以上の成幼虫の発生が認められる圃場の率。